



配偶者暴力（DV）－女性の3人に1人が経験

今家庭で何が起きているか?!・・・見ましたか? NHKTV『シングルマザーズ』

NHKテレビで『シングルマザーズ』というドラマが放送されています。夫の暴力から「身一つ」で逃げてきた主人公の女性が自立していく姿が描かれています。家を出た時5歳だった息子の成長に伴う葛藤や、他のシングルマザーの家族も描かれていて、配偶者暴力（DV）について考えさせてくれるドラマです。



配偶者暴力（ドメスティック・バイオレンス＝DV）とは何でしょうか？

『配偶者暴力（DV）とは、配偶者または事実婚のパートナーなど親密な関係にある男女間における暴力のこと』とDV防止法に定義されています。

また児童虐待防止法では『親のDVを目撃しながら育つ子どもにとっては、精神的虐待である』としています。DVは、女性の人権を侵害するだけでなく、子どもの成長に悪影響をおよぼすことも大きな問題です。

DVは特定の家庭のみで起こる現象ではありません。

2012年4月に内閣府男女共同参画局は『暴力に関する調査報告書』を発表しました。その中で「配偶者からの被害経験」は「女性の約3人に1人」にのぼり「約10人に1人は何度も」受けていると報告しています。DVは家庭の中で起

こるため、なかなか他人に気づかれにくい現象ですが、内閣府の統計資料は実に多くの被害者の存在を明らかにしています。

また、同居していない恋人同士の暴力を「デートDV」と言いますが、これも内閣府は「約10人に1人は交際相手から被害を受けたことがある」と発表しています。デートDVの加害者が「親からの虐待の被害者」との暴力の連鎖の報告もあります。

DVを根絶する取り組みを一層進めることが重要です。

身体的暴力の例

平手で打つ・足で蹴る・髪を引っ張る
もので殴る・首を絞める・腕を捻る
引きずり回す・ものを投げつける 等

性的暴力の例

嫌がっているのに性行為を強要する・
無理にポルノ等を見せる・
中絶を強要する 等

精神的暴力の例

大声でどなる・何をいっても無視して口を
きかない・人前でばかにする・誰のおかげ
で生活できるんだなどという・生活費を
渡さない・友人・親族との付き合いを制限
する・大切なものを壊す・仕事をやめさせ
る、こどもに危害を加えるといった脅す等

暴力

※東京ウィメンズプラザホームページより

DVの相談窓口

町田市男女平等推進センター

女性悩みごと相談 ☎ 042-721-4842

東京都配偶者暴力相談支援センター

女性相談センター ☎ 03-5261-3110

東京ウィメンズプラザ ☎ 03-5467-1711

被害を受けた、又はその恐れがある場合は警察へ連絡を！

町田警察署生活安全課 ☎ 042-722-0110

予告 第13回まちだ男女平等フェスティバル

※参加申込みは1/15～ 詳細は1月11日発行
「男女平等推進センターだより」にて(新聞折込)

生きよう！一人ひとりがその人らしく

メイン企画 2月2日(土) 9:45~12:00

3階ホール(188名)

講演会「100年後の未来のために
いわさきちひろ から私たちへ」
講師：海南友子さん(映画監督)

2月2日(土) 13:30~ 4階 第1学習室(40名)
「女子大生・若手女性社会人のための自分らしい生き方を見つけるワークショップ」講師：堀江敦子さん

15:30~ 3階 活動室(30名)

「震災と遠野の昔話」語り手：大平悦子さん

2月3日(日) 10:00~ 3階 活動室(30名)

「男女とも元気なうちから高齢期の『介護』『住まい』を考えよう」小柴 誠さん

10:30~ 4階 第1学習室(40名)

「バックラッシュの動きと男女平等のゆくえ」

10:30~ 3階 和室(20名)

「パパ・ママのためのハンドセラピー」安元安紀子さん

13:30~ 4階 第1学習室(40名)

「ワークライフバランス実践講座」大西友美子さん

14:00~ 3階ホール(188名)

「戦争と女性 ~隣人との真の友好を願って~」
崔善愛さん ロバート・リケットさん 有馬理恵さん

<終了した講座より>

講演会 11/14

「女と男」本当に平等でしょうか？
~いま、あらためて考え合う~

講師：江原 由美子さん(首都大学東京副学長)

男女平等参画国際比較GGIで日本は134ヶ国中94位(2010年度)で女性の政治・経済への参画は最低ランク。少子高齢化が進む中、日本が豊かで安定した社会になるために女性が働き続けられる社会作りが必要不可欠と学びました。

登録団体研修会 11/20

ハラスメント防止講座(セクハラ編)

講師：菅谷 純江さん(NPO法人 キャスナ)

職場や地域活動の中で立場を利用した性的な言動は、当人を苦しめるだけでなく職場や活動環境を著しく悪化させます。その背景、具体的な事例、被害者にならないために勇気を出してNOと言うための適切な自己表現(アサーション)のコツを教えてくださいました。

新刊書紹介図書の貸し出しやDVD・ビデオの視聴ができます！

「キレイならいいのか〜ビューティーバイアス〜」ロード・レテボラ 亜紀書房
フェミニストで知を求める学者である著者は、万年グレーのコール天パンツと黒のタートルで通していたが、大学の研究所長に就任した途端、周囲の女性たちが寄ってたかつて服装改造計画を始めた。女性にとつて化粧や髪型、ファッションは、仕事ぶりや知性、健康や個性より重大というのだろうか？ 著者は法律家の目で米国に蔓延する「容姿差別」を鋭く批判。過度な美容・ダイエットブーム、雇用者が従業員に押し付けるジェンダーイメージに警鐘を鳴らしている。容姿や外見が重視される現実には日本も同じ？ ぜひ、ご一読を！

シネマでトーク

大きなスクリーンで名画を観て感想を話し合しましょう。 **無料**
市民フォーラム3階 活動室

* 1月8日(火)14:00~
「アメリカン・パスタタイム」
2007年(米国)107分
第二次大戦中、強制収容キャンプに入れられた日系アメリカ人家族が、戦時中の困難な状況に直面しながら、「野球」を通して自分たちの生き方を模索していく。実話をもとにしたストーリー。

* 2月12日(火)14:00
「おじいさんと草原の小学校」
2010年(英国)103分
2003年、ケニア政府が無償教育制度をスタートさせ、田舎の小学校に大勢の子どもたちが押しかけた。その中に、文字を読みたい一心で、門前払いされても何度もやって来る一人の老人がいた。

* 3月12日(火)14:00~
「フラガール」
2006年(日本)120分
昭和40年代、福島県の炭鉱町に誕生したハワイアンセンターにまつわる実話をもとに、フラダンスショーを成功させるために奮闘する人々

「女性悩みごと相談」

☆ 女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。一人で悩まないで相談してみませんか。

受付時間…月・火・木・金・土曜日 9:30~16:00
水(第3水曜日を除く) 13:00~20:00
(日・祝日、年末年始はお休みです)

電話番号…042-721-4842(相談専用)

